事務事業調書	No	644	課 名	総務課	起 案 者	岩月祐一
平成23年度			係 名	施設係	決 裁 者	平岩八尋
事 業 種 別	施設整備		区 分	継続	業務一覧No	1
事務事業名	小学校施設修繕事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	50-10-5	
		総合計画以外の計画		
		関連する総合計画の施策	4-3-2-3-2	
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無	
根拠法令	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開 始 平成元年度	経 過 22年目	終 了	期 間
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	児童が	～になる	安全な小学校施設で生活することができるようになる。
事務事業の内容	雨漏り補修や破損した建具の修理など、小学校施設の修繕工事を実施します。			
事務事業進捗状況				
改善・対策の履歴	学校施設管理者からの修繕依頼を受ける際の報告用紙が改善され、修繕箇所や状況がより詳しく把握できるようになりました。			
環境配慮の視点	環境目標〇－基本的施策〇－具体的施策〇			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		34,065	39,362	27,713	25,417	28,090	25,062	29,857
	財 源 計 a		31,806	37,103	26,358	24,062	26,358	23,330	25,715
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	31,806	37,103	26,358	24,062	26,358	23,330	25,715
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		2,259	2,259	1,355	1,355	1,732	1,732	4,142
	内 訳	従 事 職 員 数	0.30	0.30	0.18	0.18	0.23	0.23	0.55
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	学校施設の修繕	見込(単位)	21.00	21.00	21.00	21.00
				実績b(単位)	21.00	21.00	21.00	
		指標名(単位)	学校数(校)	活動の総事業費f 実績	36,767	25,417	25,141	
				単位コストg=f÷b 実績	1,750.80	1,210.35	1,197.19	
	活動②	活動名（活動内容）	仮設校舎借上げ	見込(単位)	1.00	0.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	1.00	0.00	0.00	
		指標名(単位)	借上げ数(か所)	活動の総事業費f 実績	2,595	0	0	
				単位コストg=f÷b 実績	2,595.30	0.00	0.00	
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	修繕された学校で学ぶ児童数(人)	見込(単位)	12,000.00	12,095.00	12,042.00	11,805.00
			実績(単位)	12,000.00	12,095.00	12,042.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		修繕工事数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	172.00	100.00	94.00	
			達成状況				
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	破損箇所や危険箇所等の修繕を実施したことにより、児童にとって安全で快適な学校環境を整備することができました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	競争入札を実施したこともあり、一つ一つの修繕費を低く抑えることができました。
	成果1，2	全小学校からの修繕要望に対し、適切な対処を行った結果、修繕された学校で安全に生活できる児童数の目標が達成できました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	修繕内容を精査し、効率的に修繕を行います。 児童の安全を最優先に考え修繕を行っていきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
拡充	施設の老朽化、児童数の増加にともない、修繕箇所の増加が予想されますので、各学校と連携し児童の安全確保を目的とした修繕を実施していきます。